

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501511		
法人名	(株)えひめメディコープ		
事業所名	グループホームとらや		
所在地	新居浜市若水町2丁目7-4 (電話) 0897-31-3203		
管理者	高次 真理		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年5月29日	評価確定日	平成20年6月30日

【情報提供票より】 (平成20年5月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年8月17日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	6人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年5月1日現在)			
利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	1名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 85.5歳	最低 77歳	最高 95歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自分のことはご自分で決めたり、選ぶことができる利用者が多く、職員は、一人ひとりの思いやプライドを大切に対応することを心がけておられた。  
 編み物が得意な利用者は、職員とともに毛糸を買いに出かけ、靴下カバーを編み、他の利用者や職員にプレゼントされている。  
 管理者は、介護相談員の学習会の講師をされている。  
 利用者それぞれのかかりつけ医に受診する際には、事業所での状態が分かるような「情報書」で医療機関とやり取りをされている。歯医者は、ボランティアで年2回来て下さっている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価を受けて「とらちゃん通信」では、写真の掲載を増やし、利用者の普段の様子等を具体的に報告された。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・管理者が自己評価をまとめられ、職員で内容を確認された。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・地域の方にも多数出席いただき、会議が開催されている。会議時、市内の他のグループホームを見学され、よかった点・事業所にも採り入れたいこと等を話し合い、意見を運営に反映できるよう努めておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・年4回の「とらちゃん通信」では、利用者の日頃の様子を伝えておられる。又、毎月、ご家族へお手紙とともに金銭出納簿のコピー等を送っておられる。お花見には、ご家族も参加し交流された。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・区民運動会では、利用者も競技に参加されたり、文化祭には手作り作品を出品された。又、事業所には、体操のボランティアの方や、おやつ作りに地域の方が来て下さっている。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームとらや

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

高次 真理

評価完了日

平成 20 年 5 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			・ H19年8月28日以前あった理念を、簡潔で誰もが覚えやすいものをと、時間外部会を利用し、スタッフ皆で見直しを行い、新しい理念を作成した。		
			(外部評価)		
			事業所では、地域や他施設との交流や情報交換を行いながら利用者が地域の住民の一人として、地域の中で生活を続けられるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			・ 朝の申し送りの後、皆で復唱し理念の内容を常に心がけるようにしている。また、部会で月目標を立てているが、理念を基にした内容としている。また、朝の申し送りに参加しない遅出のため、いつも目にする冷蔵庫のドアに掲示している。		・ 業務に流されてしまい、忘れることがあるが、絶えず気に掛け、声掛けをしながら習慣付けるよう指導している。
			(外部評価)		
			管理者、職員等が話し合い、理念を作っておられる。共用空間に掲示し、職員間で共有し、取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			・ 各会での報告、組合員、ボランティアへの報告を行っている。また、誰でも見れるように、玄関への掲示をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・ 職場目標にも掲げ、スタッフ全員意識を持ち、取り組まれている。(毎日の買い物、2ヶ月に1回の班会等)		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・ 自治会役員として(今年で3年目)地域での活動を知り、参加できる行事にはできるだけ参加している。 (外部評価) 区民運動会では、利用者も競技に参加されたり、文化祭には手作り作品を出品された。又、事業所には、体操のボランティアの方や、おやつ作りに地域の方が来て下さっている。		管理者は、地域のふれあいサロンを利用者も参加することができないか、検討をされている。さらに、地域の方達との交流を深め、取り組みをすすめていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・ そこまでの取り組みはされていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・ 振り返りをしながら、改めて介護に取り組むようにしている。 (外部評価) 管理者が自己評価をまとめられ、職員で内容を確認された。前回の評価を受けて「とらちゃん通信」では、写真の掲載を増やし、利用者の普段の様子等を具体的に報告された。		サービス評価の仕組みを、貴事業所のさらなる質の向上につなげていけるような取り組みが期待される。今後、運営推進会議時の話し合いやご家族へも報告する等、活用を工夫されてみてほしい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			・活動報告や、事例報告、また、市内他施設（グループホーム）見学を行い、参考に出来る事、改善できるものなどは取り入れるようにしている。		
			(外部評価)		
			地域の方にも多数出席いただき、会議が開催されている。会議時、市内の他のグループホームを見学され、よかった点・事業所にも採り入れたいこと等を話し合い、意見を運営に反映できるよう努めておられる。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			・会社独自の組合員さん参加による“施設利用委員会”と2ヶ月に1回開催し、施設の質の向上に努めている。また、市からの要請である、介護相談員制度に協力し、毎月1回介護相談員さんの訪問を受け入れている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、市の担当者から、介護相談員の役割について説明をいただいた。管理者は、介護相談員の学習会の講師をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			・管理者、リーダーには、研修会へ参加し、家族会等での紹介を行い、いつでも相談に乗れるようにしている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			・県からの資料を参考にし、何かあればインシデント、あつとハット報告を出してもらい、スタッフ皆で検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・行なっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・玄関に「虹の箱」と表する意見箱を設置、誰もが記入できるようにしている。また、現在介護相談員制度を受け入れており、月1回介護相談員さんの訪問が行なわれ、そこでの意見がスタッフに返されている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・月1回の家族への郵送の中に入れる手紙に記載をし、お知らせしている。また、半年に1回の家族会でも、同様にお知らせしている。定期受診時家族へ近況は伝えている。		
			(外部評価) 年4回の「とらちゃん通信」では、利用者の日頃の様子を伝えておられる。又、毎月、ご家族へお手紙とともに金銭出納簿のコピー等を送っておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・玄関に「虹の箱」と表する意見箱を設置、また家族には、郵送できる用紙を（「虹の声」と表する）渡してあり、いつでも意見が反映できるようにしている。また、出た意見は、2ヶ月に1回開催されている施設利用委員会（組合員さん、利用者家族等が参加）で検討されている。		・「虹の声」は開設当初お渡ししたもののなので、家族会開催時に更新したほうがよい。（今までこの2つからの意見はない）
			(外部評価) お花見には、ご家族も参加し、交流された。		現在はご家族からの意見は少ないようであるが、事業所では今後、ご家族からの意見を引き出すことができるよう「虹の声」の工夫を重ねていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  ・月1回部会を設け、意見を反映している。また、年2回面接を行ない、意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  ・部会において、行事計画が話され、必要な人員の確保をするように努力している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  ・出来る限り、同じ職員が働き続けられるよう、面接を行い、各職員の要望を聞き、反映するようにしているが、力量不足もあり、定着できていない。  (外部評価)  管理者は、職員とのコミュニケーションを大切に考えておられ、話し合うような機会を積極的に作っておられる。職員の離職時には、利用者にあいさつをされている。		管理者は、利用者へのダメージを防ぎ、ご家族の不安にも配慮するためにも、運営体制についても検討を重ねていきたいと話しておられた。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  ・段階に応じた研修計画はできていない。各研修紹介や、人材養成で個々に必要に応じた研修への参加要請を勧めている。  (外部評価)  外部研修の機会は少ないが、法人内で学習会が行われている。毎月の職員会議時には、職員間で話し合うような機会が作られている。		・本部担当者とともに、今後研修計画を検討する予定となっている。  管理者は、自己評価作成時、研修の大切さを感じておられ、今後、事業所内での研修の計画を立てることを検討されていた。職員が集まりやすい時間等にも配慮し、実施したいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			・県のグループホーム協議会へ加入し、そこで行われている、相互評価、管理者交流会等へ参加することで、他ホームとの交流を図っている。		
			(外部評価)		
			県のグループホーム協議会が行う相互評価事業に管理者が参加され、他の事業所と運営や課題等について意見交換をされた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			・定期的（不定期）な面接を行っている。また、休憩所を狭いながら確保し、できるだけ昼休憩が取れるよう時間の設定声掛けを行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			・職場目標に基づいて、各スタッフの目標を設定し、半期毎に目標に関する面接、評価を行っている。また、各人の能力にあったような係り活動をしてもらっている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			・センター方式等を一部利用し、面接を行ってケアプランに繋げている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  ・本人、家族共に聞き取るようにしている。(上記参照にて)		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  ・以前、居宅のケアマネをしていた経験を活かし、総合的な判断をするよう努力している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  ・焦らず、徐々に馴染めるような目標とし、スタッフにも意思統一を図りようにしている。  (外部評価) 職員は、利用者のこれまでのことを知り、コミュニケーションの手がかりとされ、関係を深めていけるよう取り組まれている。又、利用者同士でお話をしていうちに落ち着かれる方もおられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  ・スタッフ皆、利用者から学ぶ姿勢を持つ様に意識している。  (外部評価) 職員は、利用者から煮物の味付けやお寿司の作り方を教えていただくこともある。職員が料理を作ることに對して、利用者からねぎらいの言葉や褒めてもらえることを、うれしく思われている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  ・家族が面会に来た時も、共に会話し、話題を共有している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  ・面会時間等に制限することなく、いつでも関われるようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  ・本人がこれまで住んできた所へいつでも行ける（故郷訪問）ようにと考えていたが、体制上の都合で実施までには至っていない。		・故郷訪問をいつかは計画したい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  ・お互いの関係を考え、絶えず状況を見ながら関わるようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  ・努力していきたい。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			・基本的なは、本人が何をしたいかを中心に考えている。(本人との会話、様子等をスタッフからの情報をもとに考えている)		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の様子や言葉を記録に留め、一人ひとりの思いや意向の把握に努めておられる。		管理者は、アセスメントの様式を、職員も情報を追加していけるよう、さらに工夫していきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			・入所時に一部情報を得たり、以前のケアマネのフェースシートや本人、家族の情報をもとにしているが、書き込むシートがあるが、なかなか書き込むには至っていない。		・シートの変更を検討し、早急な記入を考えていきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			・日常生活状況を8項目に区分し、1ヶ月に1回スタッフ全員で検討している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			・スタッフ、家族、本人の意向を情報に、また、主治医との定期的なカンファレンスでの意見も取り入れ計画を作成している。しかし、本人を交えての話し合いは十分でない。		
			(外部評価)		
			ご家族の方とも話し合い、医師のアドバイスも採り入れて計画を作成しておられる。		さらに、今後、利用者個々についてアセスメントを充実させ、介護計画に採り入れていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			・介護計画は、3ヶ月に1度の見直しはできている。途中の変化に対しても家族、スタッフとの話し合いを持っているが、十分な計画作成には至っていない。(間に合っていない)		
			(外部評価)		
			月1回、介護計画の内容について点検されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			・経過記録は、介護の実際、本人の行動、スタッフの気づき等記入し、計画に反映しているが、スタッフの気づきがまだまだ書けていない。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			・医療生協ならではの組合員さんとの協力、協力医療機関との連携等活用している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の希望に応じて、ご家族に会いに自宅に戻られる方や、美容室にパーマをかけに行かれる方に付き添われている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		(自己評価)  地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域の自治会住民、会長、民生委員さん等顔なじみとなり、支援を受けているが、警察等までにはいたっていない。		
41		(自己評価)  他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・特にしていない。地域での行事等は情報をもらい、参加するようにしている。		
42		(自己評価)  地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進委員会へ包括メンバーが参加してくれていることで、相談したり、協力したりしている。		
43	18	(自己評価)  かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・定期的なカンファレンスを行ったり、情報書を渡し、施設での様子を家族、主治医に伝えるようにしている。また、必要に応じ、主治医、家族を含めた担当者会議を行っている。		
44		(自己評価)  認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者それぞれのかかりつけ医に受診する際には、事業所での状態が分かるような「情報書」で医療機関とやり取りをされている。歯医者は、ボランティアで年2回来て下さっている。		
44		(自己評価)  認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医を主治医にすることを基本に勧めている。また、定期的なカンファレンスを行うことにより、状態把握を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)  ・かかりつけの看護師や、訪問看護ステーションと連携をとり、検討するようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)  ・入院時、訪問し、利用者様の状態把握を行い、カンファレンスに参加し、利用者様のよりよい方法を考え、退院に勤めるようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)  ・ケアプラン説明時、家族とは状況を伝え、必要に応じては、主治医との担当者会議を開き、今後の方向性を確認している。  (外部評価)  入居契約時や家族会時に運営規程に沿って、「重度化や看取りには対応していない」ということを説明され、ご家族に納得いただいている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)  ・その人にあった介護を考え、医療が必要な時はカンファレンスを行い、医療や、訪問看護ステーションと連携を取るようにしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)  ・関係者間にて、十分な情報交換を行うようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			・場面場面に応じた声かけを心掛けている。また、記録はカルテに集中し、一定場所に保管している。		
			(外部評価)		
			自分のことはご自分で決めたり、選ぶことができる利用者が多く、職員は、一人ひとりの思いやプライドを大切に対応することを心がけておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			・その場面場面に応じ、入居者様が何故そのような行動をとったのかを考え、対応するように心掛けている。また、その事を記録に書くように努力しているが、なかなか書けていない。月1回のスタッフカンファレンスにて意思統一をしている。		
			(外部評価)		
			・なるべく本人の希望を聞きながら行動を共にするように心掛けている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			・なるべく本人の希望を聞きながら行動を共にするように心掛けている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時の昼食後、ウッドデッキのソファで、おしゃべりされている方や居室で横になっておられる方、娘さんに電話をされている方等、思い思いに過ごしておられる様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・できるだけ本人に任せてはいるが、アドバイスや、できない人に関しては、こちらで選んであげることもある。理容・美容に 関しても本人の意見を優先にしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・できるだけ利用者様好みにあった物を取り入れるメニューを考えている。また、下ごしらえや盛り付け、片付け等、手伝える部分は手伝ってもらっている。  (外部評価) 畑の野菜を使用し、季節のものを採り入れ、食事作りをされている。職員も同じテーブルで、利用者と昨日のボランティアの方と作った豆腐のことをお話をされながら、食事をされてた。又、昼食準備の買出しに、利用者と職員が出かけておられる様子がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・お茶の時間は、できるだけ本人の希望を取り入れている。しかし、アルコール依存症の入居者がおられるため、アルコールの対応は控えている。しかし昨年度より、大きなイベントの時は好きな入居者様へ、少量ではあるが、出すようにした。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ・利用者様の能力を考え、なるべく日中は布パンツとし、自立できるよう支援している。夜間は心地よい睡眠が出来るようにその人にあった方法（夜用パット使用やポータブルトイレ利用）を取り入れている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)		
			・基本的に入浴は午後としているが、すべての人に声掛けし、入浴を促している。また、月別入浴チェック表をもとに、その日の状態を参考にしながら入浴計画を立てている。		
			一番風呂を好まれる方がおられ、職員が利用者の背中を流す等、リラックスして入浴できるよう支援されている。又、入浴剤を利用されたり、一泊旅行では、家族風呂を楽しまれた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)		
			・その人にあった時間で入眠、起床できるようにし、特にこちらからの誘導はしていない。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)		
			・各個々人の特異性を生かせるように、その人の能力を見出し、介護計画に反映し、日常生活の中で声を掛け手伝ってもらっている。(ご飯の下ごしらえ、洗濯干し、たたみ、花の水遣り、草抜き、包丁研ぎ、ゴミ箱折り等)		
			編み物が得意な利用者は、職員とともに毛糸を買いに出かけ、靴下カバーを編み、他の利用者や職員にプレゼントされている。又、包丁を研いで下さる利用者の方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)		
			・家族から所定金を預かりホーム側で管理しているが、本人の希望により、小遣いを所持もしてもらっている方もいる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			・その日、その時の状態、要望に合わせなるべく外出できるようにしているが、体制が取れないときは、出られないこともある。		
			(外部評価)		
			日々、買い物や散歩等のお出かけの他に、月1回、皆で外出ができるよう計画を立てておられる。6月は菖蒲園に出かける予定となっていた。又、外食やカラオケに出かけることもある。		さらに、利用者個々の行ってみたい所を探り、支援できるような取り組みもすすめてみてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			・季節等にあつたお出かけを、担当を決めほぼ月1回計画をしている。また、昨年より家族含め1泊旅行を実施している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			・電話はホームに1台しかないが、ワイヤレスで、いつでも対応できるようにしている。(手紙も同様)		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			・特に面会時間の指定はしておらず、いつでも笑顔で迎えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・身体拘束の資料をいつでも学習できるようにしているが、継続的な学習はしていない。(過去には学習を行っている。		・最低1年に1回は学習していく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・基本的には日中施錠はしない。ただし、玄関の出入りの確認は必要なので、利用者様、その家族の理解を求めた上で、センサーおよび、モニターをつけ、その都度確認している。  (外部評価)  調査訪問時、玄関が網戸になっていた。外からも訪ねやすいよう配慮されている。居間から畑に出られるようになっている。来訪者がすばやく分かるよう、玄関にモニターを設置されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  ・絶えず、利用者様の居場所は確認をし、夜間、ふらつき転倒のある利用者様にたいしては、インシデント報告をもとにカンファレンスでスタッフと確認をしたあと、最適な方法で(巡回数を増やしたり、センサーマットの設置)対応している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ・カーテンをしたり、タンスにしまったり等の工夫をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ・インシデント、あっと・ハット報告等で事故を未然に防ぐようになっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  ・急変時マニュアルを作成しているが、定期的学習はしていない。		・年に2回は学習していく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ・年に3回(昼間想定2階夜間想定1回)避難訓練を実施している。また、運営推進会議においての確認および、近くの協力医院への確認をおこなっている。  (外部評価)  災害対策マニュアルを作成し、年3回、利用者も一緒に避難訓練を実施されている。		さらに、地域との関係を深め、いざという時に、助けたり助けられたりできるような体制を作っていられることも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  ・介護計画をその都度家族に説明し、理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  ・毎日健康チェックを行い、また、それぞれの変化は必ず看護師に報告し、判断するようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・カルテに、その利用者様の薬剤情報を綴じ、皆がすぐ確認できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・月別チェック表をもとに、便の管理を行っている。また、便秘や下痢などの具合を考えた食事や下剤の投与をしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・毎食後歯磨きの声掛けをし、自分でできない利用者様には介助して行っている。昼食後はできる限りすべての利用者様について、歯磨きの確認をしている。(1年に1回、協力歯科医院の口腔チェックを施行してもらっている)		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・利用者様の好みを取り入れたメニューを立て、半年に1回は、栄養士さんにチェックしてもらっている。また、月1回の体重測定や、糖尿病のかたは、検査結果を参考に、量の調整を行っている。 (外部評価) 法人の栄養士が半年に1回、食事内容についてチェックして下さるようになってきている。アドバイスをいただき、乳製品や卵料理を採り入れることを意識して取り組まれている。日中は、ウッドデッキにオーナージャグを置き、利用者がお茶を自由に飲めるようになっている。夜間は、ペットボトルを各居室に置き、水分摂取に努めておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・トイレはハイター清拭し、掃除担当者はエプロン交換している。 感染マニュアルを作成している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ・毎日の買い物で、新鮮なうちに使用するよう心がけている。(賞味期限の管理に努めている)		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ・花や、季節の飾り物を置いたりしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・玄関先や洗面所には、季節の花を飾るようにしている。また、ローカの壁には、絵画を飾ったり、掲示係をきめ、最近の様子を写した写真を貼ったり、ウッドデッキ等に、季節を感じる装飾品を飾っている。ウッドデッキは、ナイロンをはって、冬でも日向ぼっこできるようにしている。 (外部評価) 旅館の趣を残し、改装された事業所で、共用空間にもその面影がある。居間から庭が眺められる。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・ウッドデッキにソファを置き、好きなときに座ったりできるようにしている。また、自室にもテレビを置いているが、狭い食堂のテーブルに寄り添って同じ番組を見たりしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			・できるだけ、本人が以前使っていたものを持ってきてもらうようにしている。		
			(外部評価)		
			居室には、イスやテーブル、写真、仏壇、ご家族からの贈り物が個々に持ち込まれていた。好きな歌手の写真やラジカセ、三味線、舞扇等、趣味のものも多く見受けられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			・各部屋にクーラーを設置し、室温調整をしているが、旧家屋なので、ローカは隙間風が入るので、冬は寒く、夏は暑い。カーテンや、電気ストーブ等で補っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			・歩行状態を考慮して、2階入居者を決定している。また、1階部分においては、リハビリのため、段差は残しているが、場所によっては手すりを設置したり、夜間転倒の危険性がある入居者様には、センサーマットを設置し、早急な対応ができるようにしている。		・2階入居者様が階段昇降できなくなってくる可能性があるため、階段に昇降機をつけるなどの対策が必要。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			・その場の状況を考えながら、誘導、援助している。日常の作業においても、入居者様の個々人の得意なことを考えたことをしてもらうようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			・中庭に面して、ウッドデッキをつけ、ソファを置きいつでも気軽に日向ぼっこができるようにしている。洗濯干し場にもなっており、洗濯ができれば皆で干し、乾いたら皆でたたんでいる。また、皆で調理の下ごしらえをする場にもなっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	・ 毎月の介護計画検討会の出席状況、普段の接し方などから、判断した。入職してまだ間がないスタッフもいるため、 とした。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	・ ゆっくり話をするように心がけてはいるが、まだ業務に追われているようである。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 普段の日常生活の様子。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 家族からの言葉から判断。(以前より笑顔が増えた。)
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 体制上、望んだときすぐには対応できていないが、できるだけ対応するようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 看護師、による日常の声掛けや説明、近院との連携等で、入居者およびその家族からは安心だとの声が聞かれる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ 利用者様の声や様子。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	・ 訪問時や家族会での声。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	・ 体操ボランティアさんや裏の畑のボランティアさん、2ヶ月に1回の班会、地域近所のかたの訪問の様子。



項 目	取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	・ 顔見知りが増え、地元行事参加での声掛けや協力状況。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	・ 新入職員が入り、新たな気持ちで頑張っているようである。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	・ 好きなときに、自由にできないことで、一部満足とはいっていない所がある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	・ 訪問時、家族会等での発言。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ より家庭らしく日常生活を送ってもらえるようなかわりを持つよう心がけています。昨年完成した、新理念でも「笑顔のある暮らし」とし、ホーム全体に明るい雰囲気があると確信しております。また、利用者様が行けなくなるまでと、昨年より、近場ではありますが、1泊旅行も実施し、入居者様からは大変喜ばれております。